

職業実践専門課程等の基本情報について

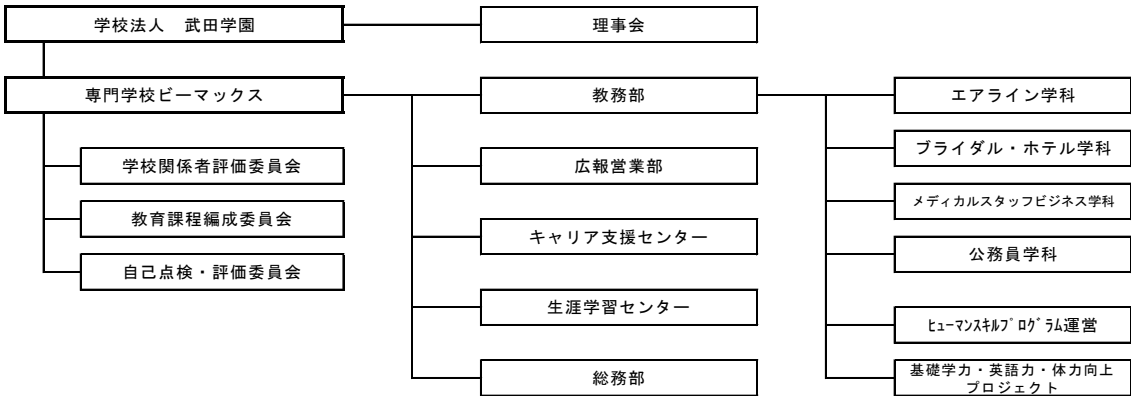
学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校ビーマックス		平成1年3月10日		武田 結幸		〒 700-0033 (住所) 岡山市北区島田本町1-6-12 (電話) 086-256-7610		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人武田学園		昭和56年2月5日		武田 結幸		〒 700-0033 (住所) 岡山市北区島田本町1-6-12 (電話) 086-256-7610		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
商業実務	商業実務専門課程		エアライン学科		平成30(2018)年度	-	令和 4(2022)年度	
学科の目的	航空業界に関する専門知識及び技術、英語や中国語などの外国語の学びを通じた国際感覚の育成、また接客に携わる者の基本であるホスピタリティーの精神を修得する。							
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格 等)	岡山空港の現役グランドスタッフや、元客室乗務員の教員から航空業界の知識や動向、実務を学び、岡山空港等でのインターンシップに挑む。英語は業界に求められるレベルの検定取得を目指しながら、中国語や韓国語も含めて、日常～業務において使える表現や会話を学ぶ。また航空業界と縁の深い観光業についても、現場で体験・経験しながら学んでいく。							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,950 単位時間	796 単位時間	883 単位時間	273 単位時間	単位時間	単位時間
			単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
40 人	30 人		0 人		0%	0 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		12		人			
	■就職希望者数(D)		12		人			
	■就職者数(E)		12		人			
	■地元就職者数(F)		1		人			
	■就職率(E/D)		100		%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		10		%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		100		%			
	■進学者数		0		人			
	■その他							
	(令和 6 年度卒業者にに関する令和7年5月1日時点の情報)							
■主な就職先、業界等		(令和6年度卒業生) ANAエアポートサービス株式会社、ANA成田エアポートサービス株式会社、株式会社JALスカイ、ANA沖縄空港株式会社、広電エアサポート株式会社、四国航空株式会社、株式会社エアトラベル徳島 他						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無			
	評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL			
当該学科のホームページURL	http://www.be-max.ac.jp/airline/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)							
	総授業時数				1,950 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				108 単位時間			
	うち必修授業時数				1,950 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				108 単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				108 単位時間			
	(B:単位数による算定)							
	総単位数				0 単位			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				0 単位			
	うち企業等と連携した演習の単位数				0 単位			
	うち必修単位数				0 単位			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				0 単位			
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数				0 単位			
	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				0 単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)				0 人			
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)				3 人			
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)				0 人			
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)				0 人			
	計				3 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				1 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善工夫等)に反映、職場や社会で必要とされる人材を育成する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記



毎年、次期及び中長期のカリキュラム作成は、秋～冬にかけて実施するため、教育課程編成委員会も、その前後に1回ずつ開催する(計2回)。秋、学科教員間で今期実行中のカリキュラムにおける良い点や改善すべき点を洗い出し、秋の委員会においてそれらを検討する。外部委員の方からの最新の情報や意見交換の内容に基づいて、次年度及び中長期のカリキュラムを、学科教員+教務部全体で検討し作成。春の委員会において、今期の最終報告を交えながら、次期及び中長期のカリキュラムの内容を共有し、ご意見を賜る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
林 正明	両備ホールディングス株式会社	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	①
林 健一	株式会社レイ	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	③
大谷 太陽	社会医療法人 社団十全会心臓病センター榊原病院	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	③
中村 博明	防衛省自衛隊岡山地方協力本部 岡山募集案内所	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	③
横田 悟	専門学校ビーマックス	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	
武田 知子	専門学校ビーマックス 理事・総務	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)
年2回 (冬、春)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年12月12日 14:00～16:00

第2回 令和7年3月24日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

大谷委員より、新人教育について、辞められたら困る前提で育成しているため、ひずみが生じているという指摘があった。たとえ優しく接しても退職する者は退職する。一方で、3年勤務を続けられたとしても、その時点で、企業側が期待しているラインまで成長はできていない。また、新人への接し方に苦心し、業務面でもカバーをするなど相対的に負荷が大きくなってしまった中間層が持たずに辞めてしまうのも頭が痛い。中村委員より、自衛隊でも、若手の幹部や下士官がどんどん退官してしまうとの発言があった。3月に大学生向けの合同企業説明会に参画したが、あまりにも人が来ずに驚いたと林(健)委員より報告があった。大学3年生の夏休み、場合によっては大学2年生のうちからインターンシップなどを通じて一部企業の青田買いが始まっており、この人手不足の中、従来の採用スケジュールの見直しもせねばならない、いったいどうすれば良いのかというお話があった。そういう環境の中で、ビーマックスの学生が見つけておくべきものを改めて問うと、外国語に力を入れることも大事だが、そもそも日本語がきちんと話し、使えるようになって欲しいとのこと。お客様に対して敬語が使えない、こちらが話している言葉の意味が理解できず、指示が守れない事態が普通に起きてしまっている。また、挨拶やメモを取るといった基本的なことができない者も多い中、ビーマックスではよく指導がされているので、そこは継続してほしいとのことだった。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

修得しておくべき知識・業務を岡山空港の現役職員より学び、岡山空港でのインターンシップに挑む。岡山空港の担当者とは綿密に連携を図り、学生への日々の指導～評価まで、適切に行って頂けるよう依頼する。また、希望者は、期の途中から県外空港でのインターンシップも可能である。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学科の担当教員と企業から派遣された講師が事前に打ち合わせを行い、講義や演習の内容、評価基準等について定める。進行中も、授業の進捗状況や学生の取り組む姿勢などを常に情報交換し、終了後は、事前に定めた評価基準に従い、講師が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インターンシップ	空港での就業体験を通して、実践的スキルを習得する。社会人としてのモラルを守りながら、その企業のルールに従って業務に従事する。	両備スカイサービスカンパニー（岡山空港）、株式会社エアトラベル徳島（徳島空港）、四国航空株式会社（高松空港）、広島エアサポート株式会社（広島空港）

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

職員の業務上の知識と技能を高め、あわせて職員の人格と見識を高め、協調性を養い、職務の質的・量的向上を図るために、教育訓練（教員研修）を行う。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「小牧空港の現状と航空関連企業の最新状況について」（連携企業等：株式会社フジドリームエアラインズ）

期間：令和6年5月29日 対象：エアライン学科 坂上

内容：ナショナルキャリアであるANA・JALが大量採用を行っているおかげで、リージョナルキャリアであるFDAは採用に苦慮。応募人数の量・質ともに低下しており、TOEICの基準点を下げて書類選考を通過させたり、中にはエントリーシートがほぼ真っ白で提出されていたりという応募者もいる。計画通りの採用ができていない。今の若者は嫌なら辞める、短い期間で転職することが当たり前だと考えているようだが、企業側としてはやはり自社を愛し、長く勤めてくれる人を採用したい。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「インクルーシブ教育の進め方～多様な学習ニーズを持つ学生・生徒との関わり方について」（連携企業等：ばんばん、NPO法人ステップ他）

期間：令和6年6月21日、同年7月31日、同年10月25日 対象：専門学校ビーマックス 全教職員

内容：日本の学校現場において、発達障害など多様な学習ニーズを持つ学生・生徒への指導は、近年非常に重要なテーマとなっている。中でも、すべての子どもに対して平等な学習機会を提供し、個性やニーズに応じた支援を行う、インクルーシブ教育の推進が求められている。しかし、教育現場での専門的な知識を持った人間の育成が足りていない、地域によって専門家や対応できる学校の有無などが全く異なっており、まだまだ発展途上でもある。研修では、毎回ケーススタディとして、特性を持った生徒への声の掛け方や学習指導のポイントなども学んだ。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「(仮)JALグループの今とこれから、JALスカイミュージアム見学」（連携企業等：日本航空株式会社）

期間：令和7年9月12日 対象：エアライン学科 坂上、藤原

内容：1951年、戦後初の民間航空会社として創業したJALグループは、「日本の翼」のひとつとして役割を果たしてきた。日本、そして世界中の国、地域や人々を結び、気候変動やエネルギーといった環境問題に対処しながら、商流・物流を維持・創出し、成長と企業価値のさらなる向上を目指すJALグループの歴史と今、そしてこれからの学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「PSAプラクティショナー養成講座・PSAスクールコーチ養成講座」（連携企業等：株式会社ヒューマン・キャピタル・コンサルティング）

期間：令和7年7月以降全12回 対象：専門学校ビーマックス 教職員

内容：PSAとは、精神医学ベースのパーソナリティ診断のことで、先天的・遺伝的な「情動パターン」と、後天的・経験的な「心の筋力の状態」のふたつに分けて分析をしている。人は生まれながらの個性があり、その個性を活かしながら成長を目指し、豊かな人間関係を育めるよう、自己・そして他者の理解を目指す。PSAスクールコーチは、PSAの世界観・人間観に基づいて、クライアントと接する。その際、クライアントのパーソナリティだけでなく、コーチ自身の特性も理解して、コーチングに臨む。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針
「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己評価結果の客観性と透明性を高めるとともに、関連企業や団体、高校、卒業生、地域住民など、学校と密接に関係する方々の理解と、継続した連携協力体制を確保するため、「学校関係者評価委員会」を設置し、「学校関係者評価」を実施する。当該委員会の委員の助言や意見などの評価結果を、学校運営等の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況
宇野委員より今、退職代行というのが流行っているが、あれをされると会社はたまったものではない。僕は、事のはじめ、事の終わりは、自身でけじめをつけるべきだと思っている。ピーマックスが大切にしている挨拶と礼も、まさにはじめと終わり。すべてに通じていることだと引き続きしっかり伝えて欲しいとの発言あり。中村委員からは、自衛隊内での「ハラスメント研修」では、上官からの声掛けや行動について、具体的かつ事細かな指導があるとの情報共有。林(健)委員からも、「ハラスメント研修」が定期的にあるが、終了後管理職たちが口にするのは、「では、どのように指導すれば良いのか」。指導する側も苦しんでいる。今年は、本校で長年用いている「PSA(気質・性格検査)」に基づいたコーチング技法を、教員全員で学んでいることをご報告。教員が「黙って俺の言うことに従え」と言っはいけない、言っても伝わらないことを理解し、かつ学生たちが我々の指導や声掛けを納得して受け入れてもらえるよう勉強している。「PSA」の根底にある考え方は、生まれ持った気質は変えられないが、成長・成熟するにつれて、自分の良くないところもコントロールできるようになり、まわりの人たちとも関わるができるようになるというもの。長年伝え続けているこのことが、頭で分かるだけでなく、学生本人の行動に落とし込めるよう、これからも精進する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
宇野 元浩	税理士法人 エフ・エム・エス	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	②卒業生 ⑥専門家等評価委員
山脇 惇	岡山寿郵便局	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	④地域住民 ⑦専門家等評価委員
濱田 浩昭	岡山県立岡山工業高等学校	令和7年4月1日～令和7年3月31日(1年間)	⑤高校等評価委員
林 健一	株式会社レイ	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	①企業等評価委員
大谷 太陽	社会医療法人 社団十全会心臓病センター榊原病院	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	①企業等評価委員 ②卒業生
中村 博明	防衛省自衛隊岡山地方協力本部 岡山募集案内所	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	①企業等評価委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
ホームページ
<https://www.be-max.ac.jp/release/17655/>
令和7年7月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
本校の教育目標や教育活動の計画、実績等について、学生や保護者には、入学前から定期的実施する三者面談の場において直接お伝えしている。また学内で自己点検評価を実施した後、学校関係者評価を実施し、それぞれの内容をホームページ上で公表。ホームページやパンフレットを通じて、本校の活動を、関連業界団体や地域住民、卒業生など幅広くご覧頂くことで、本校に対する理解を深めて頂き、教育内容のさらなる充実を図る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校紹介・理念、教育方針、ピーマックスの学び、沿革
(2)各学科等の教育	各学科紹介
(3)教職員	教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	インターンシップ、社会貢献活動、就職サポート、就職実績
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、部活動、学友会
(6)学生の生活支援	パーソナリティ診断に基づく面談・指導
(7)学生納付金・修学支援	学納金及び学納金の支援・免除制度
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
専門学校ピーマックス パンフレット、学生募集要項、ホームページ、リーフレット
<https://www.be-max.ac.jp/release/17655/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 エアライン学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			セルフマネジメントⅠ①	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認、朝テストなどの帯学習を実施する。 また、スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化を図る。	1 前	90	6		○		○		○		
2	○			航空基礎	航空業界の基礎を学び、成り立ちを知る。また業界研究を行い、自分が将来働きたい場所を考え、資料を作る。	1 前	30	2	○	△		○		○		
3	○			就職対策Ⅰ	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。 また、自己分析を通し、自ら考え・決定し・行動することができる自立した人間を目指す。	1 前	30	2	○	△		○		○		
4	○			マナープロトコール	日本人、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール（国際儀礼）、冠婚葬祭に関わる知識や技能を、正しく学び、理解する。	1 前	30	2	○			○		○		
5	○			TOEICⅠ①	TOEICの概要と対策、学習法を知る。全パートの解き方を学習、併せてTOEIC頻出単語学習を行う。到達状況に応じて、中学高校文法等の復習も行う。	1 前	60	4	○			○				
6	○			英会話Ⅰ①	航空業界・ホテル業界などの接客業で必要とされる単語・会話表現を学ぶ。	1 前	30	2	△	○		○				
7	○			エアラインマインドⅠ	エアライン業界において重要であるホスピタリティマインドを理解し・醸成していく。マインドの表現＝信頼を得る挨拶・身だしなみ・態度・言葉遣い等を身につける。	1 前	30	2	○	△		○				
8	○			空港実務	空港実習を行う上で最低限必要となるエアライン業界の知識を習得する。	1 前	30	2	○	△		○				○
9	○			SPI①	SPI能力検査の対策として、速度や損益の計算、また言語の二語関係や用法を学び、基礎学力の底上げを図る。	1 前	30	2	○	△		○		○		
10	○			国内旅程管理主任者資格	旅行業の業法や約款、取り扱う書類を学び、国内添乗実務を行い、旅程管理者主任資格を取得する。	1 前	20	1	○	△		○				
11	○			設備実習	校内のモックアップ施設にて、表情や立ち居振る舞いを意識した接客対応の仕方を学ぶ。アナウンスやカート・カウンター実習も行う。	1 前	30	1	△		○	○		○		
12	○			学科研修Ⅰ①	学校行事、学科イベント、履修状況報告書などを通して協調と感謝の心をはぐくむ。	1 前	45	3	△	○		○		○		

13	○		ヒューマンスキルプログラム	新入生研修及び宿泊研修を通して、社会人としての基礎・基本を学ぶ。個人としての振る舞いに加えて、集団の中での個人の役目や役割を意識した言動を身に付ける。	1 前	62	4	△	○		○	○		
14	○		DMM英会話	DMM英会話を通して、外国人と会話し、外国人に対しての苦手意識をなくし、自然に会話できるようになる。	1 前	15	1		○			○		
15	○		セルフマネジメントⅠ②	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認、朝テストなどの帯学習を実施する。また、スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化を図る。	1 後	90	6		○		○	○		
16	○		秘書検定	秘書技能検定2級の学習を通じて、社会人として備えるべき基本的な常識を学び、職場での過ごし方や仕事上の優先順位等について考える力を身に着ける。	1 後	16	1	○	△		○	○		
17	○		就職対策Ⅱ	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。また、自己分析を通し、自ら考え・決定し・行動することができる自立した人間を目指す。	1 後	90	6	○	△		○	○		
18	○		TOEICⅠ②	TOEICの概要と対策、学習法を知る。全パートの解き方を学習、併せてTOEIC頻出単語学習を行う。到達状況に応じて、中学高校文法等の復習も行う。	1 後	46	3	○			○			
19	○		英会話Ⅰ②	航空業界・ホテル業界などの接客業で必要とされる単語・会話表現を学ぶ。	1 後	30	2	△	○		○			
20	○		エアラインマインドⅡ	エアライン業界において重要であるホスピタリティマインドを理解し・醸成していく。マインドの表現＝信頼を得る挨拶・身だしなみ・態度・言葉遣い等を身につける。	1 後	30	2	○	△		○			
21	○		パソコン基礎Ⅰ	インターネットを利用する際の情報モラル・セキュリティ知識を身につける。Word・Excel・PowerPointの基本的な使用・操作方法を学び、MOS Excelの取得を目指す。	1 後	30	1		△	○	○	○		
22	○		SPI②	SPIをはじめとする適性検査の対策として、基礎学力の底上げを図ると同時に、適性検査への抵抗感をなくす。	1 後	32	2	○	△		○	○		
23	○		学科研修Ⅰ②	学校行事、学科イベント、履修状況報告書などを通して協調と感謝の心をはぐくむ。	1 後	30	2	△	○		○	○		
24	○		ビジネス能力検定対策	ビジネス能力検定3級の学習を通じて、社会人としてのビジネスマナーを身に着け、検定の合格を目指す。	1 後	16	1	○			○	○		
25	○		エアラインビジネス	航空業界をとりまく経済や政治、、社会的な動きを通して、業界の現状や課題、今後の見通しについて学ぶ。	1 後	16	1	○	△		○	○		
26	○		カラー	肌・瞳・髪の色といった特徴に調和するパーソナルカラーについて学び、自身の見せ方を知る。	1 後	16	1	○	△		○	○		
27	○		メイク	ヘア、メイクの基礎知識を学び、社会人としての身だしなみをトータルで学ぶ。	1 後	16	1	△	○		○	○		

28	○		インターンシップ	岡山空港等での就業体験を通して、実践的スキルを習得する。社会人としてのモラルを守りながら、その企業のルールに従って業務に従事する。	1後	108	3			○		○			○
29	○		セルフマネジメントⅡ①	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認、朝テストなどの常学習を実施する。また、スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化を図る。	2前	90	6		○		○		○		
30	○		パソコン基礎Ⅱ	インターネットを利用する際の情報モラル・セキュリティ知識を身につける。Word・Excel・PowerPointの基本的な使用・操作方法を学び、MOS Excelの取得を目指す。	2前	45	1		△	○	○		○		
31	○		課題研究①	社会人として身に着けるべき知識・技術等の中で自らの課題を挙げ、それを習得する。	2前	45	3		○		○		○		
32	○		サービス介助士	お手伝いを必要とされるお客様への「おもてなしの心」「安全な介助技術」を学び、サービス介助士の資格取得を目指す。	2前	32	2	○	△		○		○		
33	○		ビジネス基礎	社会人として経済的自立に向けて、収支管理や計画的な貯蓄・資産運用など身近な金融制度や商品について学ぶ。	2前	30	2	○	△		○		○		
34	○		社会人基礎力	1年次に修得したエアライン業界にて重要であるホスピタリティマインドをさらに醸成していくとともに、社会人にふさわしいビジネスマナー、組織で働く貢献意識を身につける。	2前	30	2	○	△		○				
35	○		TOEICⅡ①	TOEICの概要と対策、学習法を知る。全パートの解き方を学習、併せてTOEIC頻出単語学習を行う。到達状況に応じて、中学高校文法等の復習も行う。	2前	30	2	○			○				
36	○		英会話Ⅱ①	航空業界・ホテル業界などの接客業で必要とされる単語・会話表現を学ぶ。	2前	30	2	△	○		○				
37	○		中国語①	中国語の発音をマスターする。基本的な語彙を読めるよう、簡単な文法を理解し、日常会話を話し、聞き取れることを目指す。	2前	30	2	△	○		○				
38	○		韓国語①	「文字と発音」、「読み書き」、「簡単な語彙」と「基礎文法」の学習を通して、韓国語の基礎を身に付ける。	2前	30	2	○			○				
39	○		航空検定①	航空工学、空港施設、航空機の用途、スカイスポーツ、航空一般知識、及び航空史について学び、航空検定3級レベルの知識習得を目指す。	2前	30	2	○			○		○		
40	○		学科研修Ⅱ	学校行事、学科イベント、履修状況報告書などを通して協調と感謝の心をはぐくむ。	2前	34	2	△	○		○		○		
41	○		セルフマネジメントⅡ②	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認、朝テストなどの常学習を実施する。また、スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化を図る。	2後	80	5		○		○		○		
42	○		ツアープランニング	関係各所を訪問し、岡山の持つ美しい自然、歴史や文化に触れることで個人個人の豊かな感性を育む。	2後	30	1		△	○		○	○		

43	○		パソコン発展	Word・Excel・PowerPointの応用的な使用方法・GoogleWorkspaceを使用したクラウド活用、チラシ作成などのデザインを学ぶ。	2後	30	1		△	○	○	○			
44	○		コミュニケーション	サービスの事例などを通して本当の接客、おもてなしについて考える。また顧客満足を超えた顧客感動を与えるための事例を考える時間とする。	2後	30	2	△	○		○	○			
45	○		アクティブラーニング	レジリエンスについて学び、ストレスや困難に直面しても、立ち直る力を高める。また、体育の時間を通して、リフレッシュを計りながら、体力づくりにも励む。	2後	30	2		○		○	○			
46	○		課題研究②	社会人として身に着けるべき知識・技術等の中で自らの課題を挙げ、それを習得する。	2後	46	3		○		○	○			
47	○		TOEICⅡ②	TOEICの概要と対策、学習法を知る。全パートの解き方を学習、併せてTOEIC頻出単語学習を行う。到達状況に応じて、中学高校文法等の復習も行う。	2後	30	2	○			○				
48	○		英会話Ⅱ②	航空業界・ホテル業界などの接客業で必要とされる単語・会話表現を学ぶ。	2後	30	2	△	○		○				
49	○		中国語②	中国語の発音をマスターする。基本的な語彙を読めるよう、簡単な文法を理解し、日常会話を話し、聞き取れることを目指す。	2後	30	2	△	○		○				
50	○		韓国語②	「文字と発音」、「読み書き」、「簡単な語彙」と「基礎文法」の学習を通して、韓国語の基礎を身に付ける。	2後	30	2	○	△		○				
51	○		航空検定②	航空工学、空港施設、航空機の用途、スカイスポーツ、航空一般知識、及び航空史について学び、航空検定3級レベルの知識習得を目指す。	2後	30	2	○			○	○			
合計				51科目		1950単位時間(118単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1710時間以上を履修し、累計卒業取得単位数を取得していること。卒業必須資格をすべて取得していること。		1 学年の学期区分	2期
履修方法：すべて必修科目である		1 学期の授業期間	18週

- (留意事項)
- 1

一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2

企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。